

令和8年度 重点目標

学校教育目標「美しい学校にしよう(聴く・挑戦・思いやり)」を踏まえ、重点目標を「心をつなぎ、学びを楽しみ、すすんで挑戦する学校づくり」とし、具体的には (1)「総合的な学力」の育成、(2)豊かな心と健やかな体の育成、(3)特別支援教育の充実、(4)特別支援教育の充実に取り組みます。

確かな学びの現状

児童は、概ね落ち着いた学習に取り組む姿勢ができており、活気のある学校生活を送っています。しかし、教室を飛び出す、暴言を吐く等の問題行動が見られる児童も数名おり、対象児童と損気よく対話を続け指導・対応をしています。めざすことでの育成には、人権尊重の実践力、学習力づくり、学習習慣づくり、規範意識の醸成、あらゆる場でのスタンダード化等、安心できる環境づくりが重要と考えます。今年度の研修テーマを「意欲的に授業に参加し、学びを楽しむことでの育成」とし、学級の誰もが意欲的に授業に参加したい、学ぶことが楽しいと思えるために、全教科で「学びのコンパス」を軸とした、こどもが「わかった」「できた」を実感できる授業をつくりめざします。また、教師が教科の本質を理解し、こどもの実態を把握しながら、こどもが自ら学びを進め、自分ごととして学ぶ「こどもが主語」の授業を展開します。まずは、「マイタイム」と称して昨年からの始めた、「誰と学ぶか」「どのように学ぶか」を、全学年で取り入れてスタンダード化し、こども同士の学び合い、多様な他者と繋がりがながら探究的な学びを進め、こども自身が自分に合った学びを進めていく授業を行います。昨年度、自主学習の課題設定や取り組み方の事例を学校だよりと一緒に配信し、学校と家庭が一体となって取り組めるようにしたことは、学校アンケート「自主学習77%(6P)」の結果からもその効果がみられており、引き続き主体的・継続的な取組に繋がるようにしていきます。今年度は、自主学習のよい取組や工夫がみられる取組を学校全体で評価することで、学習への動みとなるようにします。また、毎日の家庭学習で基礎基本の定着を図ります。新たな取組として、授業の振り返り、「わかった」「できた」と実感したことをしっかりと言語化し、学習内容の習得と語彙力・表現力向上へと繋げていきます。その際、補助機能として今年度より採用されたAIアプリを活用する等、積極的にICTを活用しながら、個別最適な学びに繋がっていきます。

豊かな心・健やかな体の現状

概ね元気に楽しく学校生活を送っている児童が多く、教職員との関係も良好です。「人が困っているとき進んで助ける96%(5P↑)」「友だちや他の人に思いやりの気持ちを持って接する96%(→)」「他者を大切にし、関係を築こうとするこども定着を図る7%(2P↑)」の肯定的回答は高く、「いじめはどんな理由があってもいけない」では、「そう思う」が98%と大きく15Pアップしました。まだ100%に到達していないことから、いじめは絶対に許さないという認識を更に高め、未然防止・早期発見・解決を図りながら、全員が安心して学び高めあえる温かな学級づくりで、いじめを許さない学校環境づくりを行います。そして、教育活動全般を通して自分と他者を大切に、思いやりの心の育成を醸成し、平和でよりよい社会を創ろうとする豊かな人権感覚・道徳性を高めていきます。また、「自分から進んであいさつしている88%(7P↑)」の現状からも、気持ちのよいあいさつを通して、心を通わせ安心して過ごせる環境作りに力を入れます。引き続き、食教育の充実と家でとの7つのやくそくエピソードで啓発を行い、規律や基本的な生活習慣の維持を家庭の協力を求めながら図っていきます。新体力テストの結果では、多くの種目で堺市平均を上回り、過去5年間で最高記録でした。年間を通して、体づくり運動を取り入れた体育授業の展開と体育的行事の充実を図り、運動の楽しさの実感と継続的な基礎体力の向上を図ります。また、姿勢が崩れることも多いことから、体育委員会を中心に、体幹を鍛える取組を行います。今年度は、支援学級2学級増(9学級)となり、特別支援委員会において在籍児童の情報共有はもちろんのこと、通常の学級の授業において、支援を要する全ての児童が取り残されない授業展開ができるように、特別支援教育Coや支援学級担任が、授業者に対して発問や指示の出し方、解説の工夫・教材やワークシート等の開発の助言やサポートを行うことで、すべての教員が特別支援教育に関する専門性・指導力向上を図り、インクルーシブ教育を推進していきます。「本を読むことが好き 66%」と低いことから、読書習慣の定着にむけ、引き続き中図書館と連携し、また、地域の方からの本の寄贈募集を行い、蔵書数の改善・学級文庫等の充実を図ります。また、廊下のスペースを活用した図書コーナーの新設、ウーフの会や人権週間での関連本読み聞かせ等で、本に触れる機会の充実と図書環境を整えていきます。

| 大項目        | 中項目  | 具体目標  | 具体的な取組<br>(●重点とする取組 ★中学校区での取組)   | 判断基準<br>(評価のものさし)  | 評価方法                         | 評価時期       | 進捗確認<br>(～10月) | 達成状況(年度末) |         |
|------------|--|---|--|--|------------------------------|------------|----------------|-----------|---------|
|            |  |   |  |  |                              |            |                | 自己評価      | 学校関係者評価 |
| 確かな学び      | 主体的に学ぶ育成   | 基礎基本の定着<br>授業の振り返りの充実   | ●毎日の家庭学習による基礎基本の習得を図る。また、主体的に取り組む自主学習となるよう、課題や取り組み方を校報に掲載し、家庭と学校が一体となって促進を図る。  | 「家で自主学習を毎日する」肯定的回答概ね80%以上<br>研修委員会での報告   | 実践報告<br>学校アンケート              | 年度末        |                |           |         |
|            |  |   | ●自らの学習を振り返り、「わかった」「できた」を実感し、言語化することで、学習内容の習得と語彙力・表現力を高める。<br>振り返りのサポート機能として、クラウド(AI)を積極的に活用する。   | 「授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを理解したこと」肯定的回答概ね80%以上   | 堺市学調質問紙<br>実践報告              | 年度末        |                |           |         |
|            |  |   | ★学び・ICTインフルエンサーを活用し、効果的なICTの活用による授業を通して、個別最適な学びで、子ども自身が自分に合った学びを進める。   | 「タブレットのよさを感じながら活用し、自分に合った方法で学習に積極的に取り組むことができた」肯定的回答概ね80%以上<br>学校アンケート<br>実践報告<br>学校群ICT授業改善会議での報告            | 学校アンケート<br>実践報告              | 年度末        |                |           |         |
| 授業改善       | 多様な他者と協働した探究的な学びの充実<br>・子どもが主語となる授業づくり                             | 教師が教科の本質を理解し、「学びのコンパス」を意識した単元づくりで、自ら学びを進め、各教科の見方考え方が身につけられるよう自分ごととして学ぶ授業の展開をめざす。          | 研修委員会での報告<br>学校群ICT授業改善会議での報告  | 実践報告   | 年度末                          |            |                |           |         |
|            |  | ●子ども同士の学び合い、多様な他者とつながりながら探究的な学び等を通して、どのように学ぶのかを考え、子ども自身が自分に合った学びを進める「マイタイム」を取り入れた授業を展開する。 | 「誰と学ぶのか、どのように学ぶのかを、子ども自身が選択し、自分に合った学び方で学習に取り組めた」肯定的回答概ね80%以上   | 実践報告<br>学校アンケート  | 年度末                          |            |                |           |         |
|            |  | 互いの授業を見合う期間や研究授業を通して、探究的に、深い学びへと導く指導方法の工夫改善を行う。また、経験年数が短い教師を中心に自主研修や指導方法の工夫研究を進めている。      | 研修委員会での報告  | 実践報告   | 年度末                          |            |                |           |         |
| 豊かな心・健やかな体 | 心の教育   | ・基本的な生活習慣の確立<br>・豊かな人権感覚と道徳性の育成と児童生徒指導の充実<br>・成長を認め褒め自尊心を高め、自分と人を大切にする心の育成<br>・読書習慣の定着    | 「自ら元気に挨拶をする」「時間を守って行動する」「もくもく・きびきび・すみずみまで掃除することについて、日頃から教職員全員で指導を行う。   | 「進んで挨拶をする」「もくもく・きびきび・すみずみまで掃除をしている」「時刻を守って行動している」肯定的回答概ね80%以上  | 実践報告<br>学校アンケート              | 年度末        |                |           |         |
|            |  |   | ●道徳の時間を軸に、道徳教育重点目標である自分も周りの人も大切に、仲間と共に協力して活動し、自分のやるべきことを最後までやり抜くことができる力を育む。  | 「自分にはよいところがある」「自分は困難なことに挑戦している」「自分は友だちやそのほかの人に思いやりの気持ちをもって接している」肯定的評価85%以上                                   | 実践報告<br>学校アンケート              | 年度末        |                |           |         |
|            |  |   | 集団づくり活動や人権意識を高める取り組みを通して、豊かな心、思いやりの心を育成する。   | 「自分にはよいところがあると思っている」肯定的回答概ね80%以上   | 実践報告<br>学校アンケート              | 年度末        |                |           |         |
|            |  |   | ●中図書館と連携し、読書イベントやブックトークを実施し、子どもの読書量の増加をめざす。また、本を手にとる場面や場所を工夫する等、環境整備に取り組む。   | 「本を読むことが好き」肯定的回答概ね80%以上  | 学校アンケート                      | 年度末        |                |           |         |
| 児童生徒理解     | ・インクルーシブ教育の推進で誰一人取り残さない、温かな学級づくり<br>・児童生徒指導の充実<br>・秩序と活気のある学びの場づくり | ●特別支援教育委員会の充実を図り、在籍児童の情報共有し児童理解を深め、全ての教員の支援教育に関する専門性や指導力を高める。                             | 特別支援教育委員会での報告、学年会での情報共有  | 実践報告   | 年度末                          |            |                |           |         |
|            |  | 支援が必要な通常の学級に在籍児童に対して特別支援教育コーディネーターが個別の支援計画を立て、担任とともに学級内で支援を行い、インクルーシブ教育を推進する。             | 特別支援教育委員会での報告<br>特別支援教育コーディネーターからの報告   | 実践報告   | 年度末                          |            |                |           |         |
|            |  | 放課後指導や休憩時間など、児童一人ひとりの関わりを大切に、子どもの話をよく聞き、児童と教職員の信頼関係を築く。                                   | 「先生に困ったことを相談できる」80%<br>「教職員は子どもの話をよく聞き、相談にのっている」80%  | 学校アンケート  | 年度末                          |            |                |           |         |
| 体力向上       | 運動に親しみ、健康な体づくりと基礎体力の向上   | 毎月7のつく日に校内放送による「家で7のつくやくそくデー」の啓発を行い、基本的な習慣・規則正しい生活の定着を図る。                                 | 「家でテレビやスマホ・タブレットの時間を決めている」「宿題・自主学習に進んで取り組んでいる」「早寝・早起き・朝ごはん」「本を読むことが好きだ」肯定的回答概ね75%以上  | 学校アンケート<br>新体力テスト  | 年度末                          |            |                |           |         |
|            |  | 運動の楽しさを実感できる体育授業の充実やなわとび朝会などの取組を行い、主体的に運動に取り組む態度を育て、総合的な体力の向上をめざす。                        | 「体を動かすことが好き」肯定的回答概ね80%以上<br>新体力テスト3種目(握力を含む)において堺市平均を上回る   | 実践報告<br>学校アンケート  | 年度末                          |            |                |           |         |
|            |  | 「朝食もう1品運動」「排便指導」を行い、より良い生活習慣の定着と意識向上に取り組む。  | 「早寝・早起き・朝ごはん」肯定的回答概ね90%以上<br>朝食摂取習慣がある肯定的回答90%以上   | 学校アンケート<br>食育アンケート   | 年度末                          |            |                |           |         |
| 学安校心づくりに全力 | 危機管理   | ・「いじめは決して許されない」認識の育成と未然防止、早期発見・解決、迅速対応に向けた取組<br>・安心安全な教育環境づくり                             | ●いじめはどんな理由があっても許されないという認識をしっかりと育成し、「いじめ発見アンケート」「心の健康観察」を定期的に行い、いじめの早期発見・早期解決、迅速な対応に取り組む。<br>★不登校対応職員を有効活用し、学校とつながれる環境を整える。<br>毎月の校内安全点検や避難訓練、緊急時の集団下校指導を実施し、安心安全な教育環境を整える。 | 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」肯定的回答概ね90%<br>いじめの早期発見と対応状況<br>生徒指導委員会での報告<br>「学校は緊急時の対応について、よく考えている」肯定的回答概ね95%以上 | 学校アンケート<br>問題行動調査<br>学校アンケート | 年度末<br>年度末 |                |           |         |
| 開かれた学校     | 保護地域連携   | 保護者・地域との連携・情報発信   | 授業参観、オープンスクール、HP、校報等を通して、保護者・地域へ情報発信を行い、相互理解と連携に努める。   | 「学校は、校報・ホームページなどで教育方針や取組、子どもの様子を伝える努力している」肯定的回答概ね80%以上   | 学校アンケート                      | 年度末        |                |           |         |
|            |  |   | 地域と児童が交流する機会を通して、感謝の気持ちを育む。  | 「見守り隊や地域の方々々に感謝している」肯定的回答概ね90%以上   | 学校アンケート                      | 年度末        |                |           |         |

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)